

特別展

遠くて近い、時の景色

鈴木美緒

Far and Near, Scenery of Time

Mio Suzuki

Installation Exhibition

2025年4月26日(土) ————— 6月29日(日)

休館日 火曜日

※ 4月29日(火・祝)、5月6日(火・祝)は開館 4月30日(水)、5月7日(水)は振替休館

開館時間 9:30 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

2025年4月26日(土) ————— 6月29日(日)

開館時間 9:30 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

休館日 火曜日 ※4月29日(火・祝)、5月6日(火・祝)は開館 4月30日(水)、5月7日(水)は振替休館

観覧料 大人 800円 小中高生 200円
(開催中のすべての展覧会をご覧いただけます)

—空間を創るフルキヨキ存在—

今回ふるさと美術館に出現する鈴木美緒の世界観は、民家で眠り続けた古ボタンや、大胆に解かれた布、
繊細に織り込まれた糸など、私たちの身近に存在し、使い込まれたモノたちで構成される。

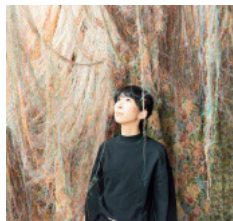
これらが紡がれ、融合されたインスタレーションは時を超えて、四季の美しさや優しさ、そして哀愁をも
感じさせる。

それは、過去と現在を、大切にしていた古ボタンで留めるように繋げ、さらにその斬新なデザインから未
来へと連なるタイムトラベルを具現化させたような感覚にも陥る。

今展では、展示室に踏み込むことで、己に語り掛けてくる感情や心境、様々な過去の記憶を、鈴木作品を
通して解放し、新たな思い出を刻み込んで出発する新しい旅へ招待する。



1. 春の山の調べ (2025) 2. 結び紡ぎ、時を思う ii (2020) 3. 海模様 _Hisui Beach(2025)



鈴木 美緒

1993年東京都出身。2016年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、2018年東京
藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。「時間と模様の再構成」をテーマにしたインスタレーションを展開。些細な記憶や風景、時間を模様と捉え、その
模様を繊細かつ大胆に空間へ再構成することで、鑑賞者が記憶や時間を辿ることを
可能にする作品制作を行う。主な展示に ISETAN SHINJYUKU B1 Window
「Autumn〜タータンで紡ぐ〜」(2024年、東京) いしおかアートスケープ(2023
年、茨城) 個展「青の色に触れるとき」Artbar & Guesthouse ennova(2022年、
静岡) DECORTE PURPLE RIBBON PROJECT(2022年、東京/愛知) Thailand
Biennale Korat 2021(2021年、タイ)

主催 朝日町 朝日町教育委員会 (一財)朝日町文化・体育振興公社

共催 北日本新聞社

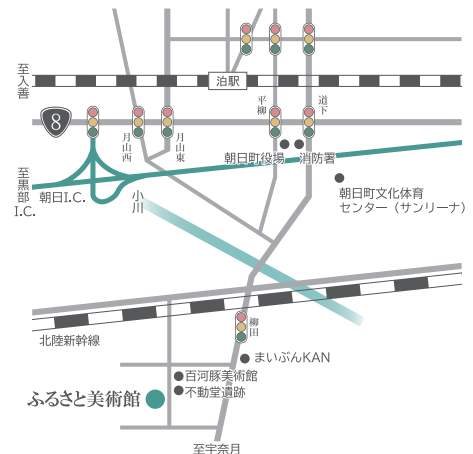
後援 北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ 新川コミュニティ放送 みらーれTV
読売新聞北陸支社 富山新聞社 北陸中日新聞 朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局

特別展

遠くて近い、 時の景色

鈴木 美緒

Far and Near, Scenery of Time
Mio Suzuki
Installation Exhibition



車：北陸自動車道朝日I.C. より10分

電車：あいの風とやま鉄道泊駅よりタクシーで15分



朝日町立ふるさと美術館
FURUSATO ART MUSEUM

〒939-0724

富山県下新川郡朝日町横水300

TEL 0765(82)0094 FAX 0765(83)3636